

企業のBC戦略オプションの考察

社会防災研究領域 災害過程研究部門 千葉 洋平

Point

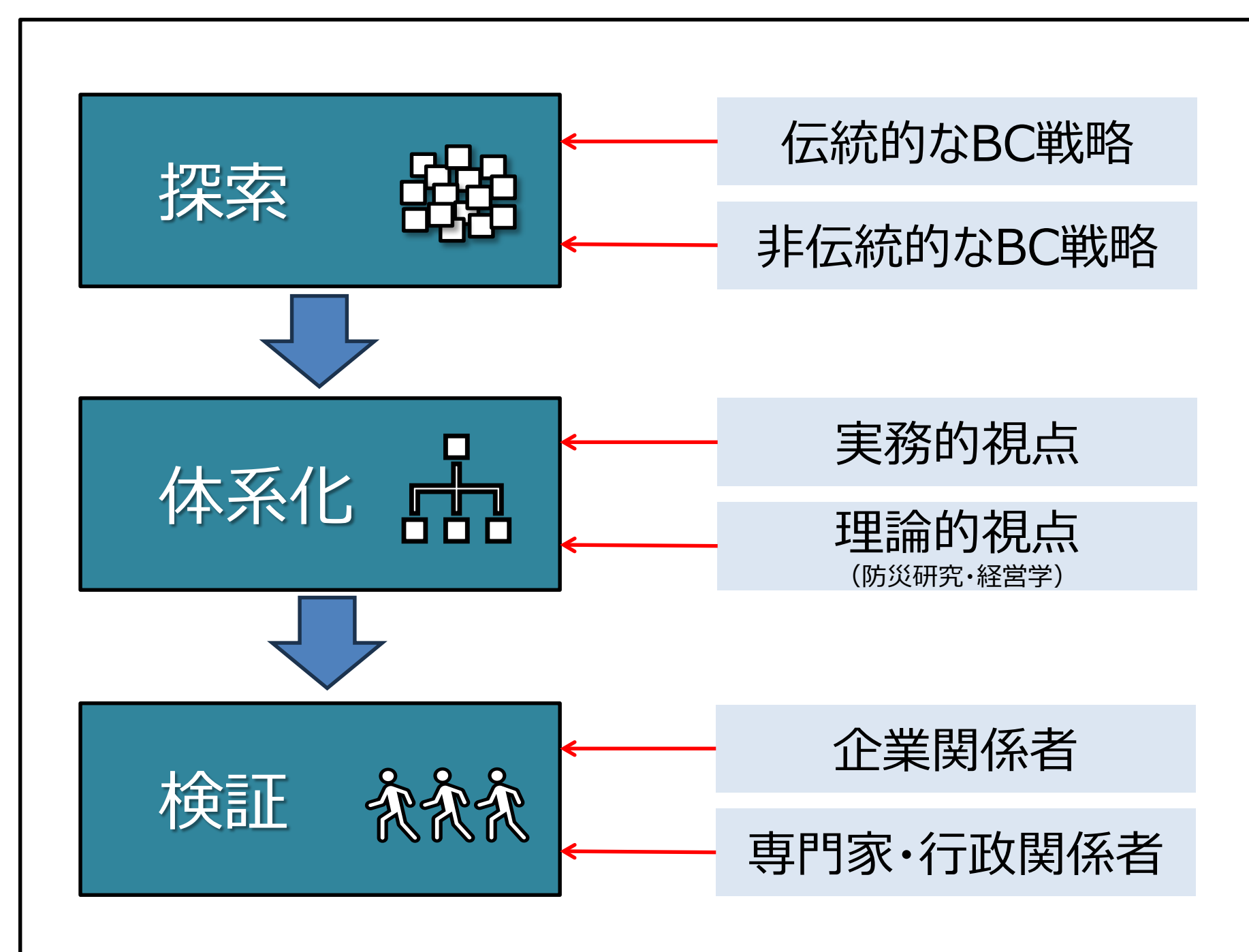
- 企業が災害を乗り越え持続していくための戦略の探索
- 実務的視点と理論的視点に基づく戦略体系の整理
- 戦略の検討に役立つ情報基盤の構築をめざす

概要

災害に対する企業のレジリエンス向上の重要性が増すなかで、事業継続ガイドライン（内閣府，2023）による事業継続マネジメントの普及啓発や、事業継続力強化計画認定制度（中小企業庁，2019）による中小企業の事業継続対策の促進など、企業の事業継続力の向上を図るための取り組みが進められています。こうした取り組みを受け、企業による事業継続に関する計画策定は年々増加傾向にあります。しかしながら、特に中小企業においては、事業継続戦略（BC戦略）に必要なノウハウ等の不足により、戦略構築の難しさ等が大きな障壁となっており、どのような戦略を災害フェーズ等に応じて整備すべきかなど、企業の存続に役立つBC戦略の検討に向けた支援が必要です。

そこで本研究では、企業の事業継続力の向上に向けて、企業が災害を乗り越えるためのBC戦略オプションの探索と体系化を進めています。このプロセスを通じて、現場で実践される様々な戦略の様相を可視化し、また、新たに考慮が必要な戦略を見だし、これら戦略を企業特性などに応じて整理していくことで、効果的なBC戦略の提案を可能とする情報基盤の研究開発をめざします。

本研究では、これまで、企業によって実践されてきたBC戦略のほか、昨今の事業環境の変化にうまく対応できると考えられる戦略について考察し、11のBC戦略オプションを取り上げました（千葉・永松・細坪，2023）。さらに、企業によるBCの取り組みとして災害時企業間互助にフォーカスを当て、建設業、製造業、商業などの業界団体を対象に、当該取り組みに関する実施状況を把握するためのアンケート調査を行いました。



BC戦略オプションの探索と体系化

今後の展望・方向性

企業が災害を乗り越え持続していくための戦略の参考となるよう、被害の程度や企業を取り巻く環境に応じて、場合によっては既存事業の維持のみならず、事業の縮小や新たなビジネス機会の創出といった観点も含む、様々な戦略オプションの探索をめざします。また、これら戦略オプションを効果的に活用するために、実務的視点と理論的視点、防災研究視点と経営学視点の双方を踏まえ

ながら、戦略分類に関するフレームワークの構築と、当該フレームワークに基づく戦略体系の整理を試みます。さらに、これら一連のプロセスを通じて体系化した戦略オプションについて、企業関係者、企業戦略に係る専門家、行政関係者等からのフィードバックを通じて実用性の検証をめざします。併せて、これら戦略オプションが成立する要件の検討を行っていきます。

